

あおぞら21



仁保地区に住民自治のあり方を見た（政務活動報告）	2
平成の大浚え～ ^{あおぞら} つづら ^{つづら} トンネル復旧工事現場を訪ねて～	4
地震からのおくりもの「風神石」	5

表紙：次はまかせた（御船高校体育祭 5月14日）

4・5月定例会

29年6月30日

No.117

熊本・みふね町議会

仁保地区に住民自治のあり方を見た

御船町議会議員 岩永宏介

期 日 平成29年3月2日(木)～3日(金) (2日間)
 研修場所 (1) 山口市仁保地域交流センター(3月2日)
 (2) 仁保上郷地区並びに「道の駅 仁保の郷」(3月3日)
 参 加 者 岩田重成・田中隆敏・田上 忍・岩永宏介
 3月2日の研修 講話：「仁保地域づくり協議会について」
 講師：仁保地域づくり協議会事務局長 内田利夫さん

はじめに

私たちが、研修先として山口市仁保地区を選んだ理由は次の通りである。

わが国で、地方が人口減少等の問題、いわゆる過疎問題に直面して、地域づくりに取り組み始めるのは、1990年代といわれる（「農山村は消滅しない」小田切徳美著 岩波新書）。ところが、今回、視察した仁保地区は1世代、約30年も早く1960年代から地域づくりに取り組んでいる。そして、数々の成果を生み出し地区は発展し続けている。その要因はどのようなところにあるのか。それを知り御船町の地域づくりに生かしたいと思ったからである。

※仁保地区は、2005年に合併してエリアを拡大する以前の旧山口市の北部に位置する旧村である。県庁所在地である山口市にあるものの、多くの集落は地形的に傾斜地域（農林統計上の中間地域）に立地している。同地区は23集落からなり、人口は3,278人（1,401世帯）、高齢化率は36％である。（前掲著）



右から3人目が講師の内田氏

学んだこと

成功の要因と思われることを箇条書きにまとめると、

- (1)1960年代当時、住民間に「このままでは地区はどうなるのか、何とかしなくては」との危機意識が共有されたこと。
- (2)地域のリーダーがいたこと。
- (3)自治会、農協、公民館、婦人会などが集まり「仁保地域開発協議会」（現在の「仁保地域づくり協議会」）を設立したこと。

当時は、地区内に色々な団体はあるものの、横の連携も取れず、思い思いの活

動をしていて、そうした動きをまとめて取り上げる場がなかった。

- (4)開発協議会は山口大学農学部との協力を得て、**地域の実態把握とその分析を行ったこと。**
- (5)農業生産施設の整備、河川改修、学校施設の整備などの施設整備のたびに**住民による徹底した議論が行われ、様々な工夫が施されていったこと**などが挙げられる。

※お断り 紙幅の関係で3月2日分の報告にとどめました。

地方議員研究会研修報告

御船町議会議員 清水 聖

期 日 平成29年1月19日(木)～1月20日(金) 2日間

研修場所 博多 リファレンス駅東ビルにて
(一般社団法人地方議員研究会主催)

参 加 者 井本昭光・清水聖・沖徹信・田端幸治・藤川博和・福永啓 計6名

研修内容 地方版総合戦略と自治体財政・財政比較であなたの自治体をチェック

【講師】

川本達志氏
(元廿日市市副市長・自治体経営コンサルタント)

【研修内容】

地方版総合戦略と自治体財政

- 消滅可能都市のウソ？ホント？
- まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連
- 地方人口ビジョンと自治体
- 夕張問題から何を学ぶか
財政比較であなたの自治体をチェック
- 財政状況資料の見かた、活用方法等

政策提言等においては、裏付けとなる統計や資料が必要である。」「そのために必要な資料は現在ネット上ではほぼ全て公開されている。」「これらの資料や統計を入手し、読み解くことが出来なければならない。」「数字は嘘をつかない」等との意見には全く同意が出来る。

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、大変有用なツールであるが、議会活動においても、また、行政においてもあまり活用されていないことは残念である。

自らの経験のみを頼りに議

員活動を行なうことも多い議員にとって、自分が良いと思うこと、自分がこうあるべきだと思うことが、本当に良いのか、本当にそうあるべきなのか、客観的な資料や統計を読み解いて、自らの考え方を常に検証することは非常に大事なことであろう。

また、客観的な資料や統計から町の課題を把握し、その対策を取ることは極めて有効な手段であろう。

思い込みを排除し、根拠ある議会活動・議員活動を実践する上で大変有意義かつ共感できる研修であった。

【所感】

九州大学法学部卒業後、広島県庁勤務を経て、廿日市市に勤務経験された、廿日市市の元副市長川本達志氏を講師に迎え、他町村の議員も数多く参加する研修会に参加した。

研修の主な項目は上記した通りだが、地域経済分析システム（RESAS：リーサス）や、財務諸表の読み方や、その数値が意味するところなど内容が極めて実務的であった。

「議会活動、議員活動、各



研修レジュメ

平成の大浚えおおさら～つづら九十九トンネル復旧工事現場を訪ねて～

御船町議会議員 岩永 宏介

農業用水が流れなくなった

昨年の大地震後の豪雨で九十九トンネル入口付近の断崖絶壁が大規模崩落し、その土砂が大量にトンネル内に流れ込み堆積して農業用水が流れなくなった。用水の恩恵を受けて永年米作りを行ってきた農家は悲嘆にくれている。

工事を引き受けたのは地元の企業

「コンクリートから人間へ」のフレーズに象徴される公共土木事業の抑制政策は、土木建築業者を大幅に減らし、震災復旧工事は業者不足で思うようにはかどらない。このトンネル復旧工事もご多聞にもれず、3月に行われた入札は不調に終わった。5月の入札も危ぶまれたが、地元の企業が応札、工事を引き受けることになった。

「九十九トンネル」は世界遺産！？

「御船町史」を紐解くと「水利土木工事ひもとで有名なのは嘉永井手である。22か所のトンネルを経て元禄井手と合流させ、西上野村に通水し、木倉村・滝尾村まで延々28キロに及ぶ大事業である。この工事最大の難工事は480間（873m）におよぶ九十九トンネル穿さくであった。上下両方から穿さくしはじめ、昼夜兼行で7か

年の星霜を経て安政6年（1859年）に全通した。木倉手永村々の百姓らが動員され、特に上田代村・南田代村・西上野村は村総出であったという」とある。

工事現場を訪ねて話を聞く

工事が始まった5月9日に現場を訪ねた。草スキーのそりで土砂を運び出されている様子を見て、「重機が入らんけん大変ですね」と労をねぎらうと、工事を引き受けた方が「何ば言いよとな、そぎゃんこつするなら、俺たちゃ窒息するばい」と苦笑い。そうなんだと気付かされた。

1カ月後（6月5日）に再び現場に行ってみたら、約300mにわたって入り込んだ土砂はほぼ取り除かれていた。思っていたよりも工事の進み具合が早いので、今後の見通しに明るいものを感じた。一方で、工事を引き受けた方が

「トンネルの途中に今にも落ちそうな岩があつとたい。危のうして、作業員にも絶対にさわるなど注意したばかり。やおいかん」と心配顔で話された。まさに身体を張っての作業である。

今後の見通し

トンネル内の土砂排除が終わると、次は河川の取水口からトンネル入口までの用水路に溜まった土砂の排除作業が待ち受ける。用水路の上方は大規模な急斜地になっていて、地震後の大雨で大きく崩落した箇所がある。この工事は県発注の工事だから町の工事と県の工事が重なり合うこととなり、工事をめぐって県と町での調整が必要となる。

6月下旬には通水予定とのこと。

トンネルの復旧は地区住民の悲願で一日も早い通水が待たれる。



グッドアイデア！？
ソリを使つての土砂排除

地震からのおくりもの「風神石」

御船町議会議員 清水 聖

4月の熊本地震で大きな揺れを二度経験し、ほんの少し落ち着きを取り戻しかけた6月20日には、記録的な豪雨により甚大な被害を受けた。住民の心や住居、山林、田畑に大きな傷を負った。復興への見通しの悪い中、役場が住民の要望や困りごとを聞き取る地区座談会を開催。そこでつながりをもてた民間団体「ふるさと発・復興志民会議」に、水越・五ヶ瀬地区で巨石が道を塞いで農作業ができないで困っていると84歳岩本増喜さんの声を伝えたことがきっかけで、外部からの支援が始まった。ヤフオクに「風神

石」として出品する発案だ。日本国内で熊本地震が忘れられていく中、新聞やテレビ、ヤフーニュースで取り上げられ、多くの方々からの応援をいただいた。さらに菊池市の業者が風神石を落札（落札費用2,400円、撤去費用も落札者負担）。道も新たに切り開かれこれからの生活の希望も生まれた。爆破された石は、一部を旧水越小グラウンド片隅に、小さな欠片はばあちゃん達の手作りの巾着に入れ、「幸を願うつながりの風神石」として支援していただいた方々に送っている。

「風神石」の記録や、水越

の活動についてはフェイスブック「ただいま水越」をご覧ください。



「風神石」の確認



「風神石」を発破



「風神石」の解体様子



解体された「風神石」



記念に「風神石」いかがですか？
（詳細はフェイスブック「ただいま水越」をご覧ください。）

清水議員を選出 ～上益城広域連合議会～

4月会議を4月13日に開催した。工事請負契約を含む議案等5件を審議採決した。

5月会議を5月11日に開催した。一部事務組合議会等の議員の辞職に伴い、一部事務組合等の議員を選出した。

(※4月議会で行われた正副議長の就任の詳細は、5月15日発行の議会広報紙116号に掲載しています。)

4月議会で決まったこと (4月13日)

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論の 有無	採決 結果
議案 1	工事請負契約の締結	下鶴橋 橋梁災害復旧工事	無	全会一致で 可決
議案 2	工事請負契約の締結	八勢眼鏡橋災害復旧工事	有	全会一致で 可決
議案 3	職員の給与に関する条例の一部改正	職名の追加	有	全会一致で 可決
議案 4	水道事業及び簡易水道事業の設置等に関する条例の全部改正	簡易水道事業を上水道事業で譲り受けたことによる改正	有	全会一致で 可決
議案 5	水道事業及び簡易水道事業条例の全部改正	簡易水道事業を上水道事業で譲り受けたことによる改正	無	全会一致で 可決
追加 日程 1	議長辞職	井本昭光議長の辞職	無	反対者 岩田・田中・森田
追加 日程 2	議長の選挙	田端幸治議員を議長に選出	無	
追加 日程 3	副議長の選挙	清水聖議員を副議長に選出	無	
追加 日程 4	議席の一部変更	正副議長就任に伴う議席の一部変更	無	
追加 日程 5	議会運営委員会委員の辞任	田端幸治委員の辞任	無	全会一致で 許可
追加 日程 6	地方創生調査特別委員会委員の辞任	田端幸治委員の辞任	無	全会一致で 許可
追加 日程 7	災害復興支援特別委員会委員の辞任	田端幸治委員の辞任	無	全会一致で 許可
追加 日程 8	委員の選任	議会運営委員会委員に池田浩二議員を選任 地方創生調査・災害復興支援特別委員に 井本昭光議員を選任	無	
追加 日程 9	正副委員長の互選	議会運営委員長に池田浩二議員を互選 総務文教常任委員長に藤川博和議員、 副委員長に池田浩二議員を互選 地方創生調査・災害復興支援特別委員長に 清水聖議員、災害復興支援特別副委員長に 藤川博和議員を互選	無	

5月会議で決まったこと (5月11日)

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論の 有無	採決 結果
	御船町甲佐町衛生施設組合議会議員の 選挙	井本昭光議員を議員に選出	無	
	上益城広域連合議会議員の選挙	清水聖議員を議員に選出	無	

かがやく



小川野
國武信子さん

御船の大自然で一日を過ごしてみませんか

御船に来て16年、今年春、初めて吉無田高原のてっぺんにある「ゆうすげの丘」に立ち、御船はもちろん熊本市内を一望できるすばらしい景観に圧倒されました。なんでもっと早くここに来なかったのだと後悔すらしました。この日は、吉無田を愛する方々の手で、「春の高原フットパス」が催され、高原の魅力を満喫し、地元の方々のおもてなしに舌鼓を打ちました。参加者の中には、若いころ娘を連れてきて遊び、今回は孫を連れてきたとのこと。変わらぬ自然が人々の心を魅了して離さない。吉無田の偉大な自然の力を知りました。私たちの命を育む水・空気・風・光・温度・匂い・音は、時としてそれらはあまりにも身近にありすぎて、大切なものであることを忘れがちです。また、美しい里山の風景はそこに住む人々の日々の野良仕事を作り上げた美しさであって、まったくの自然ではないことを気づかずにいます。

夏には吉無田水源で森の学校が計画されています。電化製品に包まれた日常や人工的な遊園地ではなく、御船の大自然で一日を過ごしてみませんか。吉無田高原が、御船の山々が、私たちの豊かな暮らしにかけがえのないものであることを感じていただけたらと思います。

は、爽やかな香りの風を吹かせ、汗だくで疲れきった体に安らぎと元氣を与えてくれます。山の間伐や下草刈りをして、暗い森に光が差し込み風が吹きぬけると、木々が喜んで私にご褒美をくれているのだと思ってしまう。山が元氣になれば水が湧き、命の水となって川となり海へ。田畑も漁場も豊かな森があつてこそ。すべての自然に感動し感謝せずにはおれない毎日です。

そんな中、震災で家を再建するのに祖先が植えた木を使った家を建てたいと、伐採を依頼されました。自分で伐った木が製材されたのを見たのは初めてで、本当にうれしかったです。土地の腐朽菌に強く腐れにくい家は地元の木です。シックハウス症候群もなく調湿作用の優れた地元の無垢の木をたくさん使った家の完成が楽しみです。

議会の予定 7月

- 2日 宮部兄弟慰霊祭・
宮部鼎蔵先生記念碑修復完了
報告会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 視察受入(鳥取県北栄町議会)
- 7日 全員協議会
郡議長会定例会
- 10日 九州中央自動車道建設促進沿線
議会協議会総会・決起大会
(宮崎県高千穂町)
- 12日 熊本サントリー会
- 13日 議会(予定)
- 14日 視察受入(福岡県大木町議会)
- 22日 議会報告会
- 25~26日 一般廃棄物処理施設整備
促進協議会視察研修
- 31日 視察受入(宮崎県東臼杵郡町
村議会議長会)

編集後記

熊本地震から14ヶ月経過した。仮設住宅やみなし仮設、自分で作った仮設に済む人がまだたくさんいる。自宅を再建する人もいれば断念する人もいるだろう。これからどうしたらよいのか。中山間部は用水路が壊れ農地も被害を受け、稲作ができないところが多い。これからこの課題をどうするかである。農地を守り耕作放棄地を増やさない事業が求められる。そして稲作で得ていた収入をどのような手

田上 忍

議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員長	田上 忍
副委員長	岩永 宏介
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	中城 峯雄
委員	森田 優二

議会報告会に参加しませんか

本年度も下記の日程にて議会報告会を開催します。

報告会では、平成 28 年度の議会の取組み（震災関係等）を報告し、参加者の皆様からご意見を伺います。また、事前の質問も受け付けます。お気軽に議会事務局にお問い合わせ下さい。

皆様のご参加をお待ちしております。

※質問は議会に関するものに限ります。ご了承ください。

時間 午後 7 時～ 午後 9 時

日付	会場	参加議員
7月22日（土）	役場3階 大会議室	A 班
	上野保育園	B 班

※どちらに参加されても構いません。

参加議員（所属委員会名称は略式）

A 班	 清水 聖 副議長	 岩田 重成 議員	 井本 昭光 議員	 池田 浩二 議員
	副議長・議運・総文・広報・創生・災害	産厚・広報・災害	総文・創生・災害	議運・総文・改革・災害
	 福永 啓 議員	 田上 忍 議員	 中城 峯雄 議員	
	議運・産厚・改革・災害	産厚・広報・災害	総文・広報・創生・災害	
B 班	 田端 幸治 議長	 沖 徹信 議員	 田中 隆敏 議員	 塚本 勝紀 議員
	議長・産厚	産厚・改革・創生・災害	総文・改革・災害	議運・産厚・改革・災害
	 藤川 博和 議員	 岩永 宏介 議員	 森田 雄二 議員	
	議運・総文・改革・創生・災害	産厚・広報・創生・災害	総文・広報・創生・災害	

※委員会名称

- 議運……………議会運営委員会（議会運営に関すること）
- 総文……………総務文教常任委員会（総務、教育等の所管事務の調査等）
- 産厚……………産業厚生常任委員会（産業、福祉等の所管事務の調査等）
- 広報……………議会広報編集特別委員会（議会広報紙に関すること）
- 改革……………議会改革推進特別委員会（議会改革に関すること）
- 創生……………地方創生調査特別委員会（地方創生に関すること）
- 災害……………災害復興支援特別委員会（平成28年熊本地震、豪雨災害に関すること）